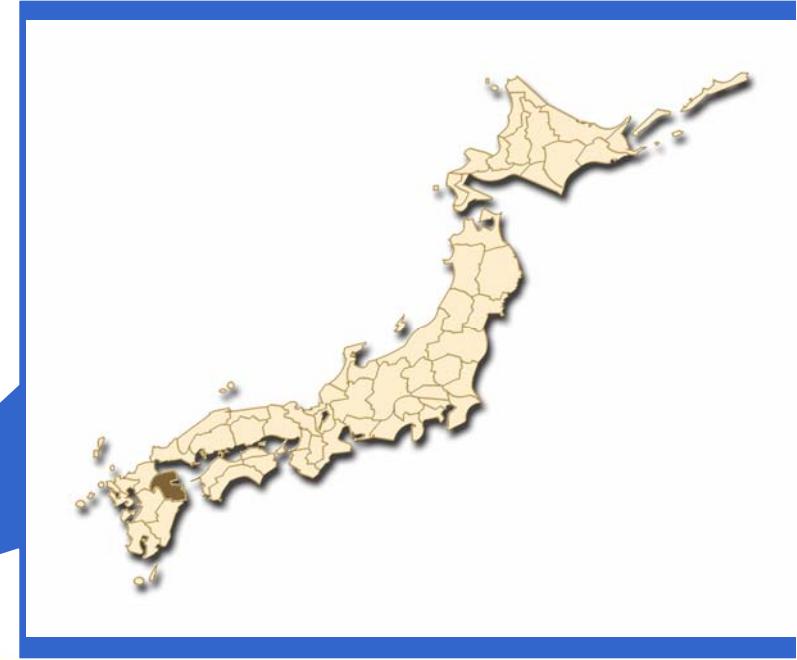
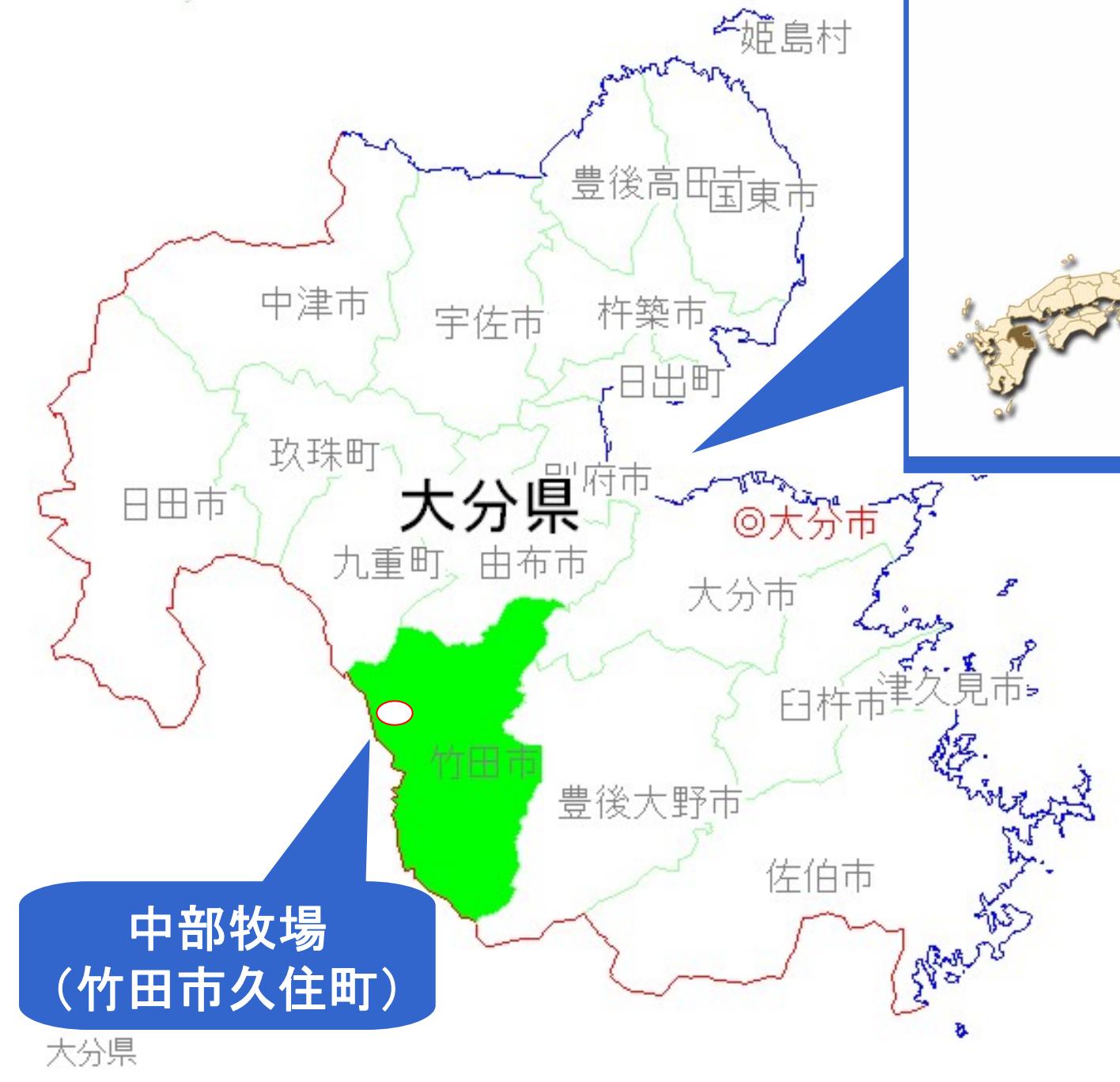
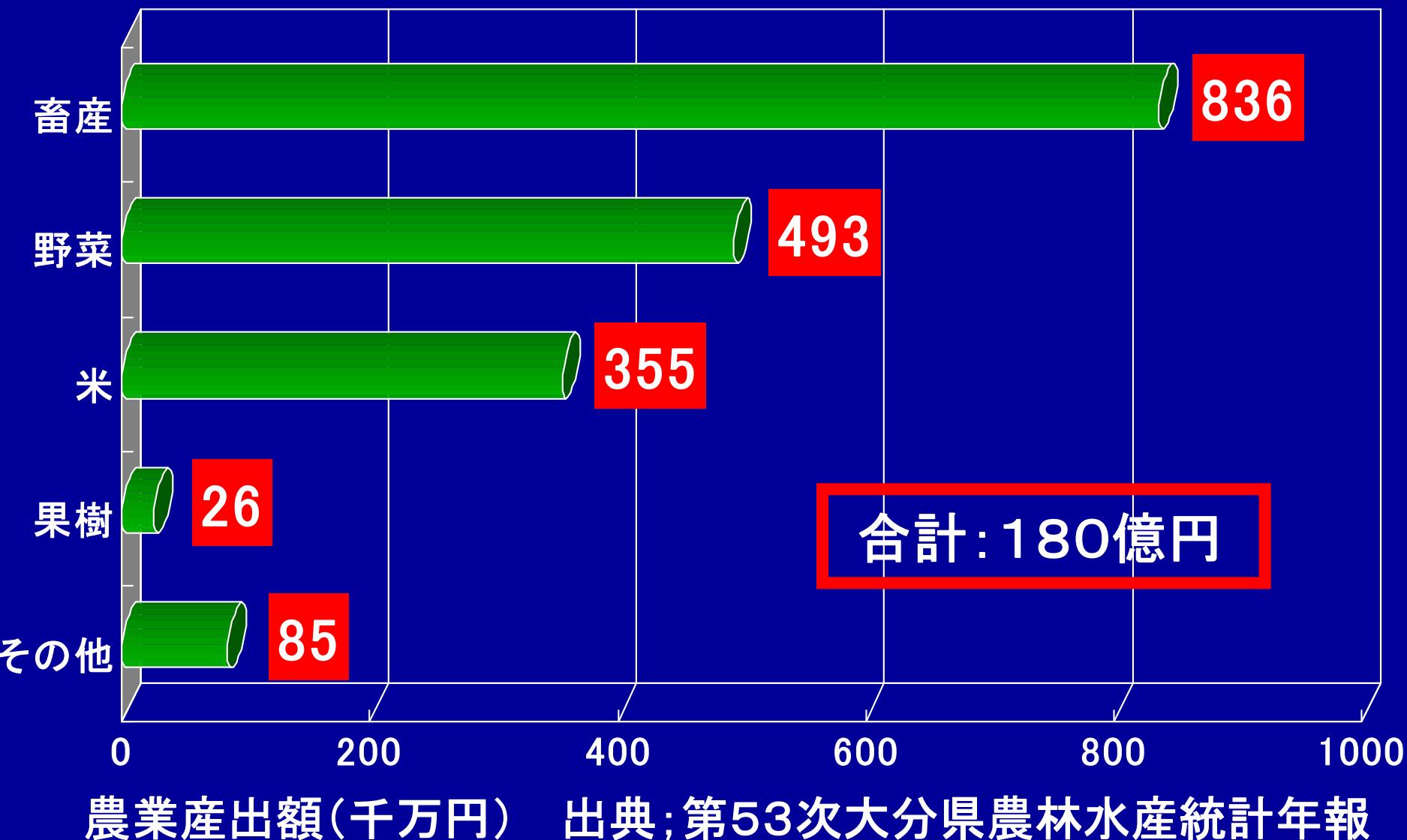


共同利用牧場を核とした肉用牛 の増頭と地域農業の振興

大分県竹田市久住町大字白丹
中部牧場 代表 木崎 征生
(発表者; 足達 保之)



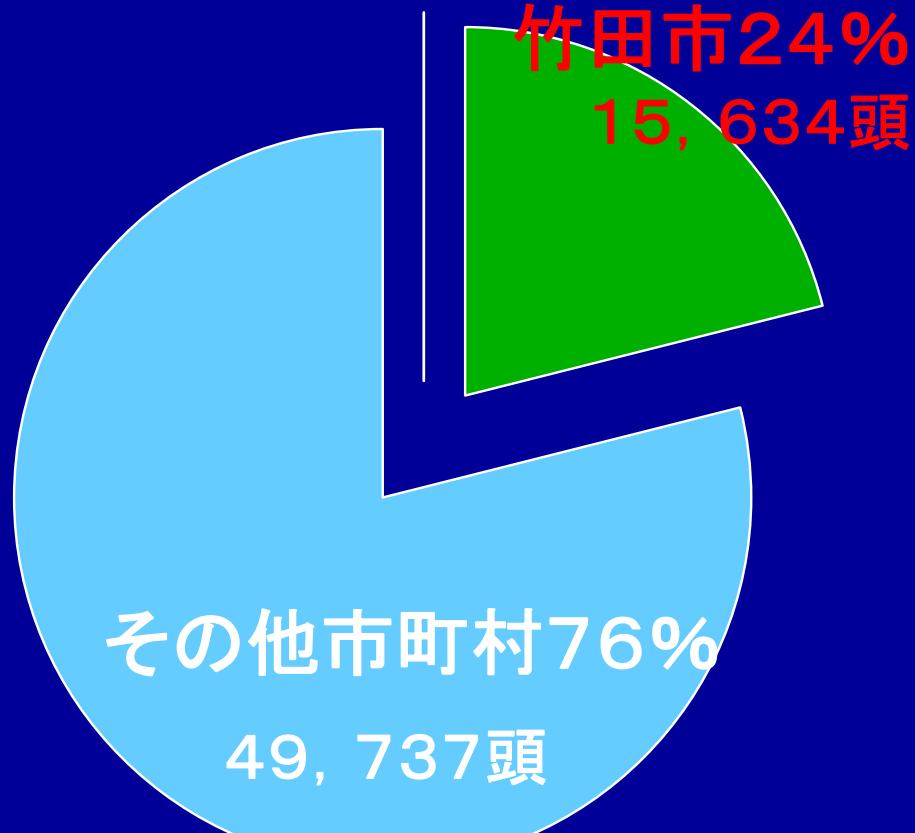
竹田市における作物別農業産出額



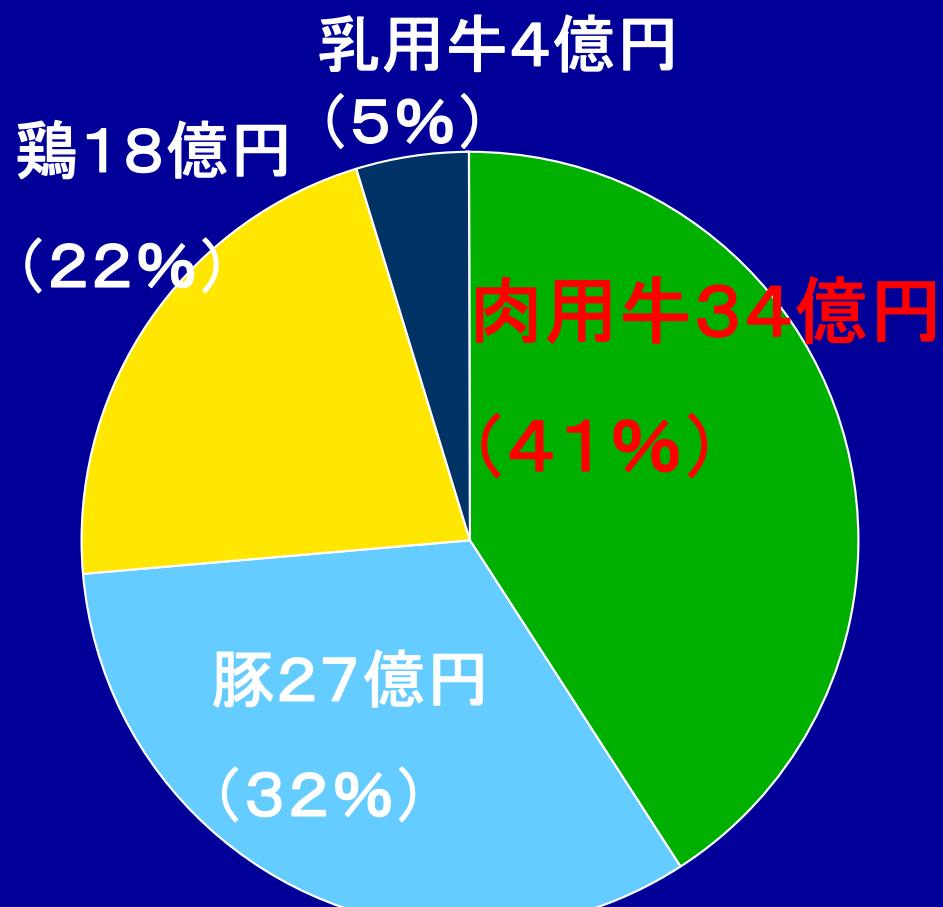
竹田市の肉用牛の情勢(平成20年)

全県に占める竹田市の

飼養頭数割合



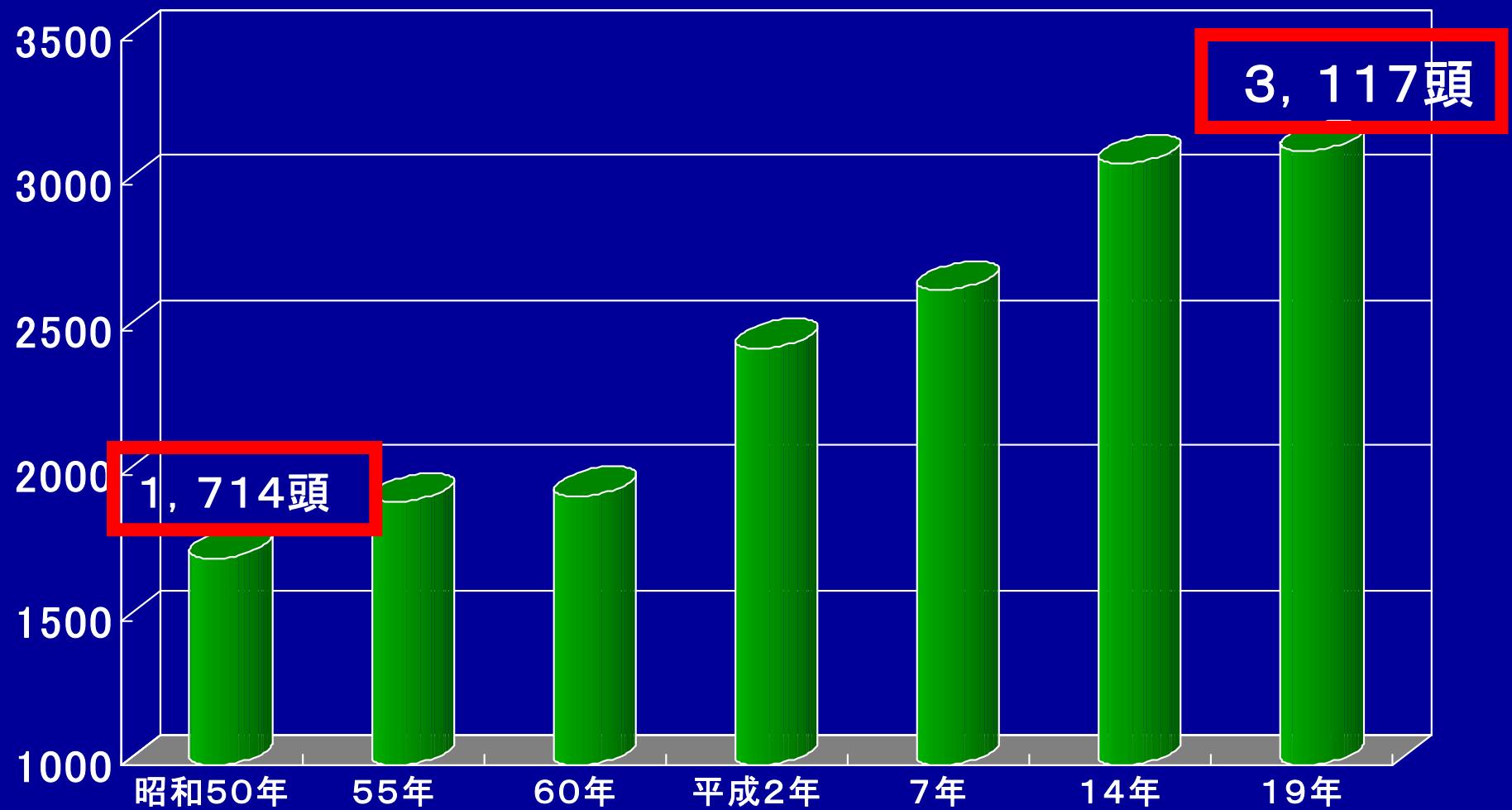
竹田市の畜種別産出額
割合



合計65, 371頭

合計 83億円

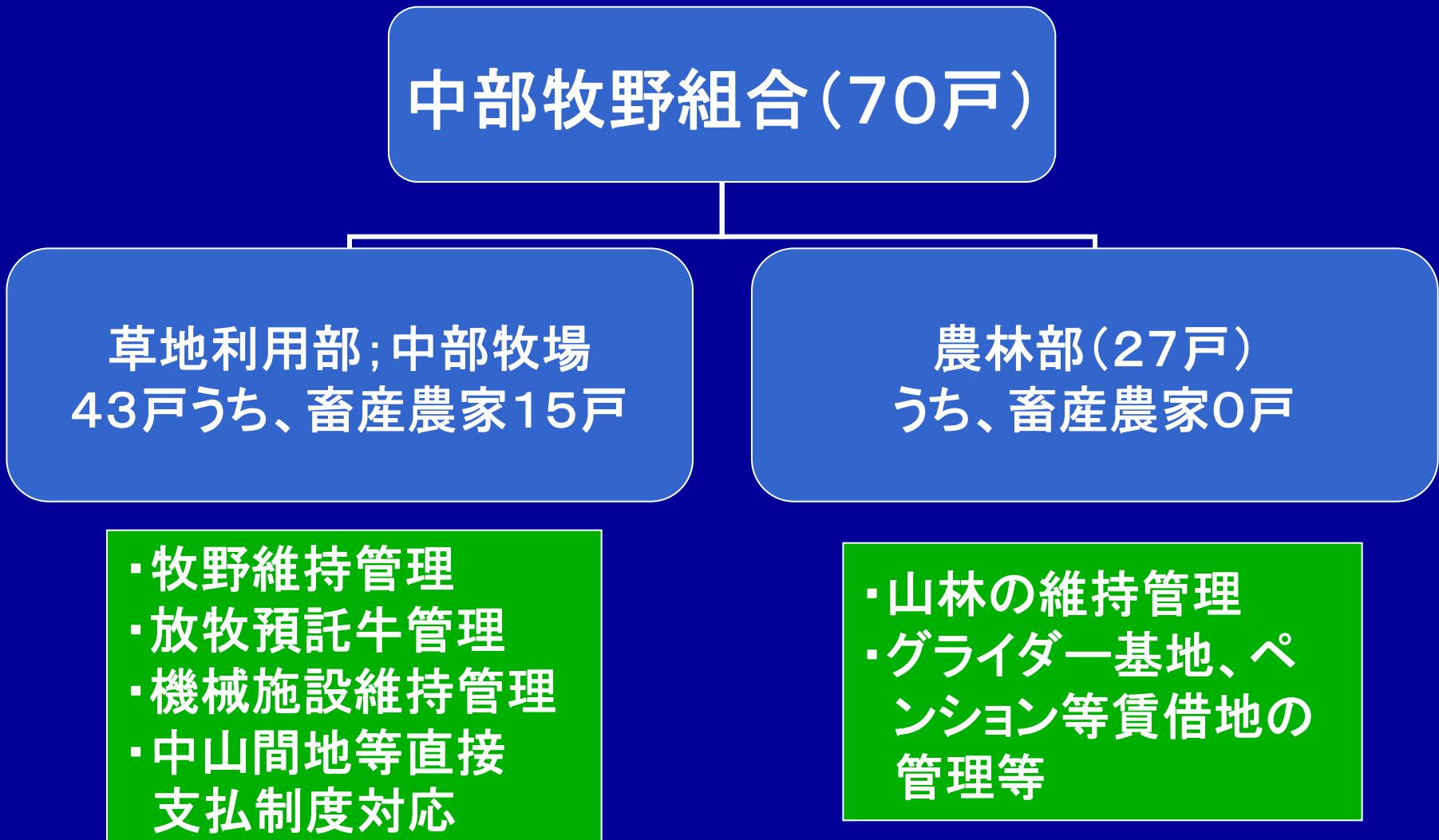
竹田市久住町における 繁殖用成雌牛飼養頭数の推移



中部牧場におけるこれまでのあゆみ

- 近代…入会地の利用
里山放牧、野草地利用
- 昭和52～60年…久住飯田広域農業開発事業
南部区域の着手
(採草放牧兼用草地の造成、幹線道路整備)
(農機具庫、乾草庫、草地飼料作物収穫調製用機械導入)
- 昭和58～63年…久住飯田広域農業開発事業
竹田直入区域の着手
(採草専用草地の造成整備)
- 平成15年～…草地林地一体的利用総合整備事業の着手(草地の更新等)

中部牧場の組織体制



経営土地面積

単位:ha

区分	採草専用	放牧専用	採草放牧兼用	計
牧草地	44	20	0	64
野草地	15	43	0	58
計	59	63	0	122

主要な機械・施設の所有状況

区分	台数等
機械	トラクター 46ps(昭和53年式)1台、66ps(昭和54年式)1台、80ps1台、90ps1台
	収穫用作業機 ディスクモア2台、モアコンテイショナー1台、テッターレーキ4台、ヘイベーラー1台、ロールベーラー1台、ラッピングマシン1台、ロールグラブ1台
	その他 ブロートキャスター1台
施設	農機具庫1棟:170m ² 、乾草庫1棟:123m ² 、看視舎(室)19m ² は農機具庫に併設

機械の維持管理を徹底しコスト低減



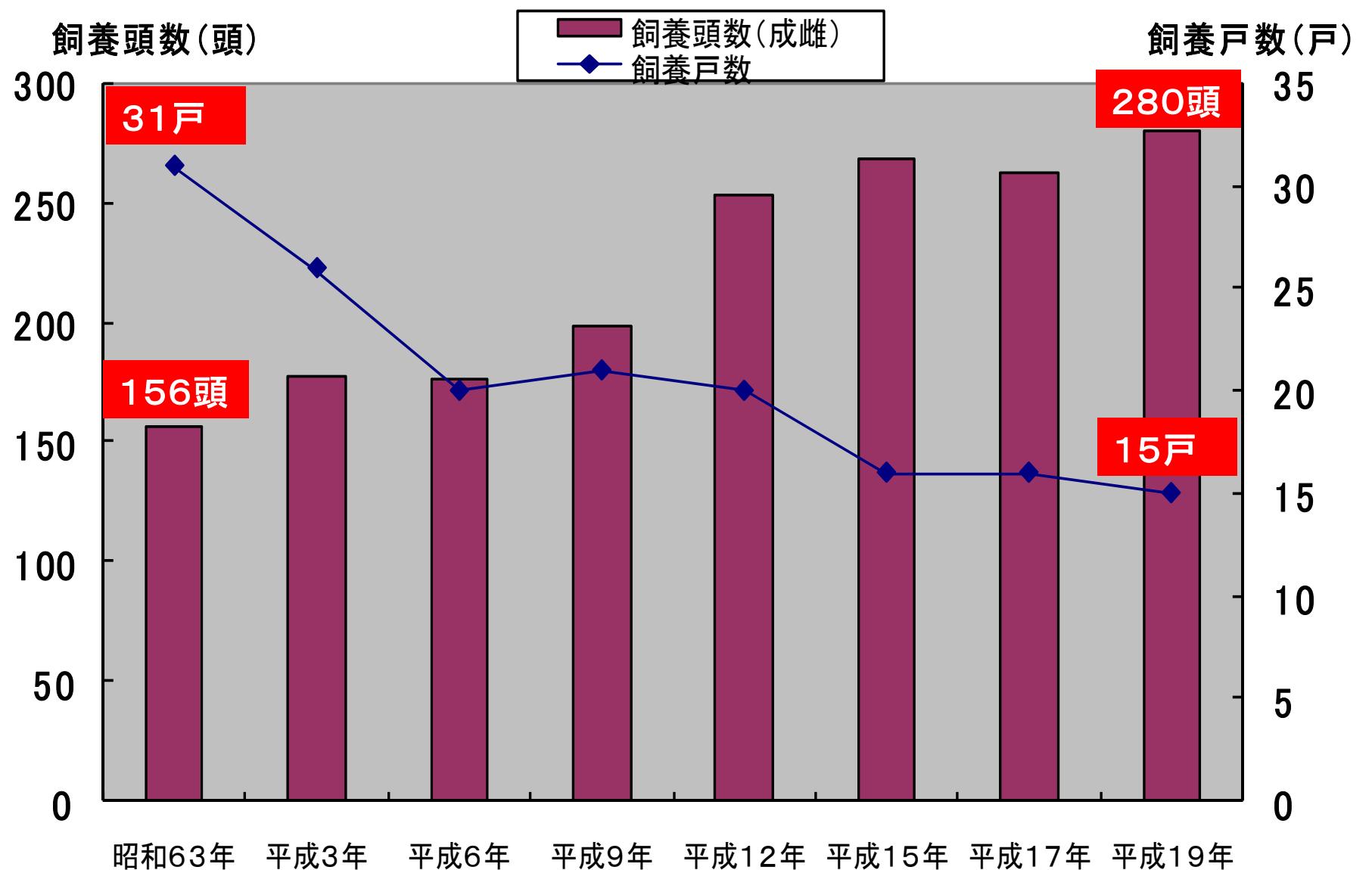
昭和53年式及び昭和54年式の
トラクターを大切に維持！！

組合員の家畜飼養状況

(平成19年2月1日現在)

畜種	成雌牛	育成牛	子牛	計
肉用牛	280	41	211	532
1戸当たり 平均	18.7	2.7	14.1	35.5

中部牧場の飼養頭数・戸数の推移



組合員の肉用牛増頭の推移

単位:頭

区分	昭和63年 ①	平成8年	平成19年 ②	伸び率 ②／①(%)
現存組合員 (15戸)	102	169	280	275
飼養中止 組合員	54	30	0	—
合計	156	199	280	180

労働力

- ・基本的には、畜産農家(15戸)15人全員がオペレーターとして出役する。

※年間 延べ180日程度の出役

- ・放牧看視人として、常に1名を雇用している。

※放牧期間中、年間235日程度



私が、放牧牛を1日2回
観察しています。

牛の状態は把握していますよ。

やっぱり、女性が1番
じゃ。

草地利用部(中部牧場)の活動

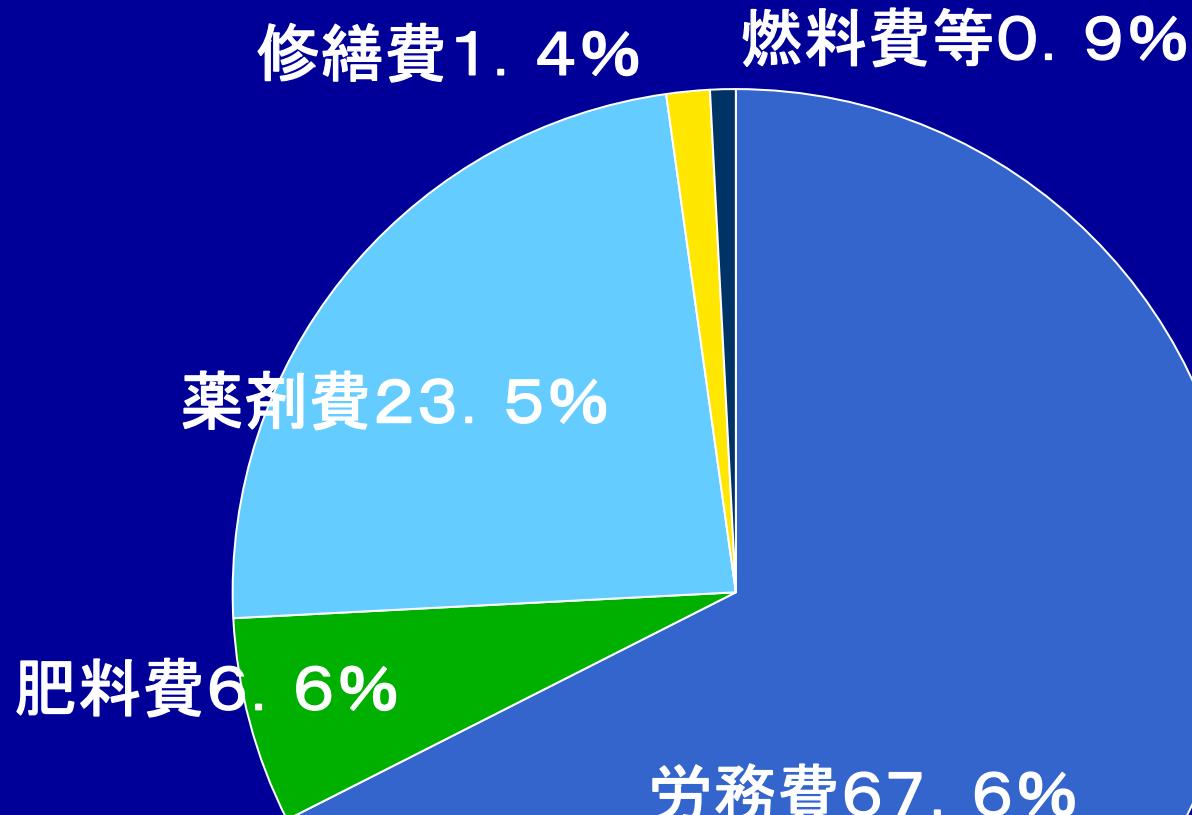


放牧実績

区分	面積 (ha)	牧区 数	入牧日	退牧日	延べ 頭数
出品牧区	30	3	4月25日	11月30日	9,983
他牧区	33	4	6月6日	12月15日	5,198
計	63	7	—	—	15,181

※放牧預託料 1頭1日当たり100円

放牧に要した直接的経費



放牧牛1頭1日当たりに要した直接経費は91.6円
TDN1kg当たりでは30.4円



直径 100 cmのロールベール



ラッピングにより長期保存可能

乾草を圃場で直接荷渡し

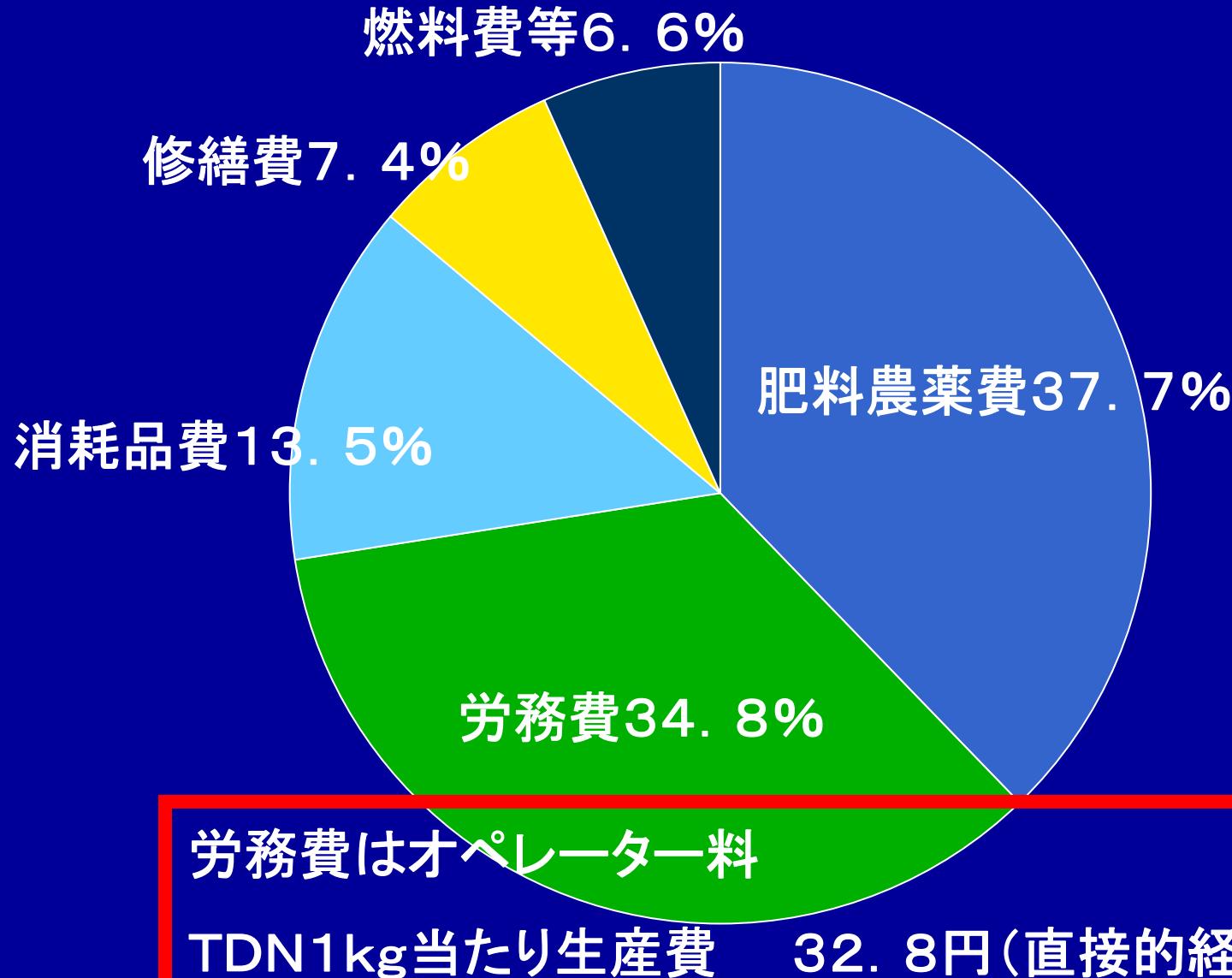


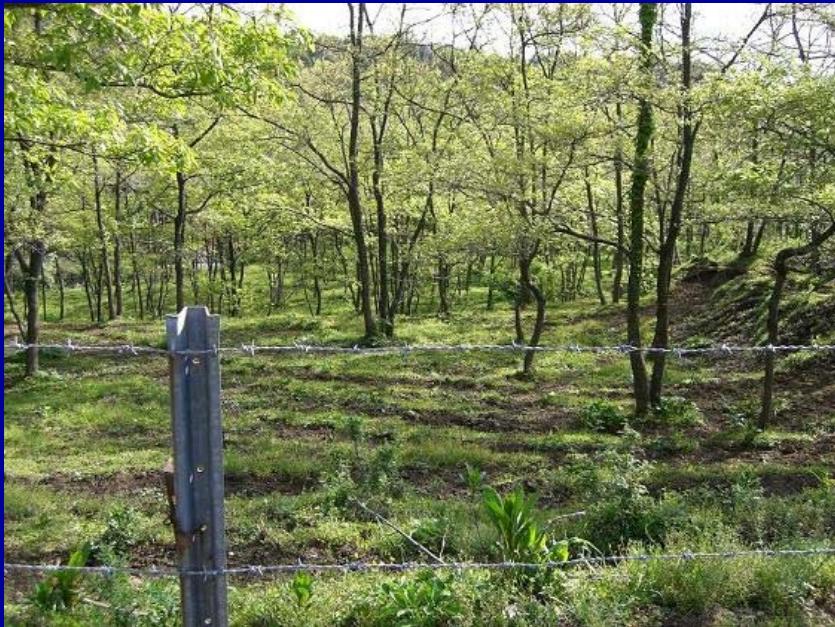
牧乾草、野乾草の料金

区分	員内外別	牧乾草		野乾草
		1番草	2, 3番草	
ロール	員内	2, 700	2, 400	—
	員外	4, 200	4, 000	—
タイト (コンパクト)	員内	450	400	200
	員外	700	600	—

注・販売料金はいずれも圃場渡しの価格

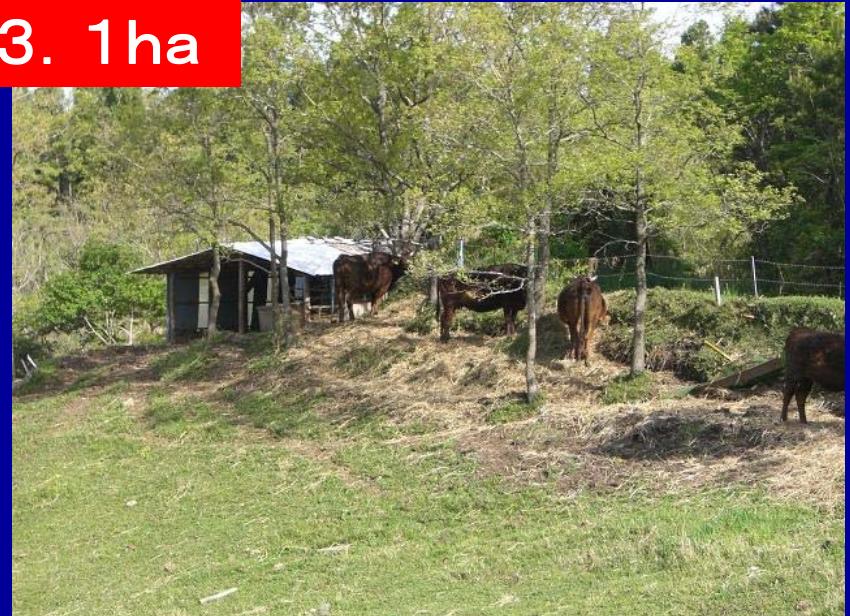
乾草生産に要した直接的経費





里山放牧利用施設(組合員個々の施設)

8カ所 13. 1ha





水田放牧・放飼等の状況

10ヵ所 4.4ha



久住町における共同利用牧場の活用

—中部牧場—

高い

共同利用牧場(採草地・放牧地)

入会牧野

共同利用牧場



標高

里山放牧地



水田・畠地放牧地

クヌギ林・水田跡地



低い

簡易牛舎
(自宅)

椎茸

水田・ハウス(トマト)





複合経営部門
(トマト)

6戸

ハウスにより栽培



椎茸の 栽培状況



5戸

大分県
一村一品の椎茸



複合経営における農業産出額等の伸び率

作目等	昭和63年 ①	平成8年	平成19年 ②	伸び率 ②／① (%)
子牛販売額	25,800	39,245	91,519	355
トマト販売額	19,362	37,827	42,724	221
椎茸産出額	10,072	9,690	7,629	76
米産出額	23,418	29,354	29,211	125
計	78,652	116,116	171,083	218
水稻面積	17.2ha	19.1ha	25.0	145

今後の取り組み

牧場の一層の機能強化、生産性の向上

- 年次的に計画的な草地更新
- 機械化体系の見直し
- 放牧頭数の拡大
- 将来の牧場後継者の育成
- 草原の維持・景観保持、国土保全



ご静聴ありがとうございました。